

愛の家 中期経営計画（2020～2022年度）

【基本理念に沿った事業運営】

- 一．利用者が人間としての尊厳と誇りを持ちながら、豊かな生活がおくれるよう支援します。
 - ☞生きにくさ（不自由さ）が軽減され、生活や仕事がしやすくなるよう、そして決して支援するものの価値観を押し付けることのない支援をします。
- 二．施設から出て、地域で“あたりまえに”暮らすことができるよう経過施設の役割を果たします。
 - ☞いつかは生まれ育った所、慣れ親しんだところに戻って生活ができるように支援をします。
- 三．利用者の経済的、社会的な自立をめざして、労働の保障・就労支援に力をいれます。
 - ☞児童は学校に行けるように、成人は仕事をすることによって収入を得て、地域で生活ができるように、仕事の確保又は就労に結びつくよう支援をします。
- 四．地域に開かれ、地域の人たちとともに歩むことができる施設をめざします。
 - ☞地域の方から気軽に声かけをしてもらえよう、積極的に地域に出ていき、交流を深めます。

【ビジョン】

共に学び、共に育み、風通しが良く、明るくイキイキ、そして和気藹々な職場を目指します。

1. 利用者等への対応の充実と情報発信

(1) “声”の収集

- ① 部門毎の会議への参加、職員面談、職員対話会等を通じて“声”を聞き、風通しの良い職場を作ります。
- ② 保護者役員会や保護者会等からの“声”を真摯に受け止め、課題については速やかに解決を図ります。

(2) 情報発信

- ① ‘行政報告対象事故’や‘みなさまの声’については、保護者役員会や保護者会で毎回お知らせします。
- ② 施設での生活状況等を記載した‘通知表’及び‘愛の家だより’を帰宅日に合わせて発行し、保護者等にお渡しします。

項目	2020年度	2021年度	2022年度
“声”の収集	①. 職員との対話&不満の解消		
	ストレス要因の 分析・対策	ストレス要因の 分析・対策	ストレス要因の 分析・対策
情報発信	②. 保護者等からの不満の声や課題を管理し、毎月進捗状況を報告		
	①. 事故や声は、発生及び完了（解決）の都度、お知らせ		
	②. 通知表及び愛の家だよりでのタイムリーに情報提供		

2. 安心して信頼されるサービスの提供

(1) リスクマネジメント

- ① アレルギー食材の誤提供防止や利用者の健康維持、またメニューのマンネリ化を防止するために給食業者と毎月打ち合わせを行います。
- ② 内部監査の確実な実施と、利用者から預っている現金の毎月チェックと第三者による監査により健全な施設運営を行います。
- ③ 職員全員が日々点検を心掛け、破損個所や危険個所の早期発見と早期復旧により、破損個所の拡大防止及び事故防止に努めます。
- ④ インフルエンザの拡大防止に向け、予防接種については入所者（グループホーム入居者含む）及び自宅からの利用者全員に接種してもらいます。
- ⑤ 産業医参加のもと安全衛生委員会を毎月開催し、感染症流行前には安全衛生講習会（感染症予防対策）を開催します。

(2) コンプライアンスの遵守

- ① ハラスメント、個人情報保護、虐待防止（権利擁護）等をテーマとした研修を毎年開催し、コンプライアンス意識の浸透を図り、コンプライアンス違反を防ぎます。
- ② コンプライアンスについてのチェックシートや日々の業務のチェックシートを用いて、自己評価及び客観的評価を行います。

項目	2020年度	2021年度	2022年度
リスクマネジメント	①.禁止食材の確認と周知徹底・利用者の健康（BMI 値）管理		
	②.使途及び入出金記録の確認（毎月）・現金監査（年2回/担当）		
	内部監査 ↔ 内部監査	内部監査 ↔ 内部監査	内部監査 ↔ 内部監査
	③.日々巡回の実施による危険個所等の早期発見と修理		
	④.インフルエンザ予防接種の全員接種に向けた継続的な取り組み		
	未接種者の確認	接種依頼 未接種者の確認	接種依頼 接種依頼（再勧奨）
	接種率(98%)	接種率(100%)	接種率(100%)
⑤.安全衛生委員会の開催（毎月）			
研修テーマの検討 ●講習会	研修テーマの検討 ●講習会	研修テーマの検討 ●講習会	
コンプライアンスの遵守	①.コンプライアンス研修（年1回）・虐待防止（権利擁護）研修（年2回）実施		
	②.理解度テストやチェックシートを用いた評価の実施		
	【理解度テスト正答率】 ・コンプライアンス研修(70%以上) ・虐待防止研修(80%以上) 【自己評価による達成率】 ・セキュリティチェックシート(80%以上) ・支援のチェックシート(85%以上) 【客観的評価による達成率】 ・セキュリティチェックシート(75%以上) ・支援のチェックシート(75%以上)	【理解度テスト正答率】 ・コンプライアンス研修(前年比+5P) ・虐待防止研修(前年比+5P) 【自己評価による達成率】 ・セキュリティチェックシート(85%以上) ・支援のチェックシート(90%以上) 【客観的評価による達成率】 ・セキュリティチェックシート(80%以上) ・支援のチェックシート(85%以上)	【理解度テスト正答率】 ・コンプライアンス研修(前年比+5P) ・虐待防止研修(前年比+5P) 【自己評価による達成率】 ・セキュリティチェックシート(90%以上) ・支援のチェックシート(95%以上) 【客観的評価による達成率】 ・セキュリティチェックシート(85%以上) ・支援のチェックシート(95%以上)

3. 安定的で継続性をもった経営

(1) 安定した収益の確保

- ① 成人：長期入院等によって利用率が低下することのないよう、安定した施設運営を行います。
- ② 児童：多人数の一斉退所を避けるため、年齢バランスを考慮した児童の確保に努めます。
- ③ GH：事務所一体型ホームの早期開設（R3年度）に向け、早期着工・完成を目指します。
- ④ 通所：開所日数を維持し、休日開所日の利用率を向上させることにより収入増を目指します。

(2) 人材の確保

- ① 卒業生の紹介や母校訪問等による採用活動を積極的に展開し、新規ルートの開拓に努めます。
（大学、短大、専門学校等）
- ② ハローワークや就職イベント等を活用し、高等学校への求人活動を行います。
（大阪、和歌山にある専門学校や高等学校・九州四国等遠隔地にある専門学校や高等学校等）
- ③ 職員紹介による第二新卒者や中堅転職希望者等には、住宅手当や支度金制度等の優位な制度を活用し積極的にアプローチを行います。

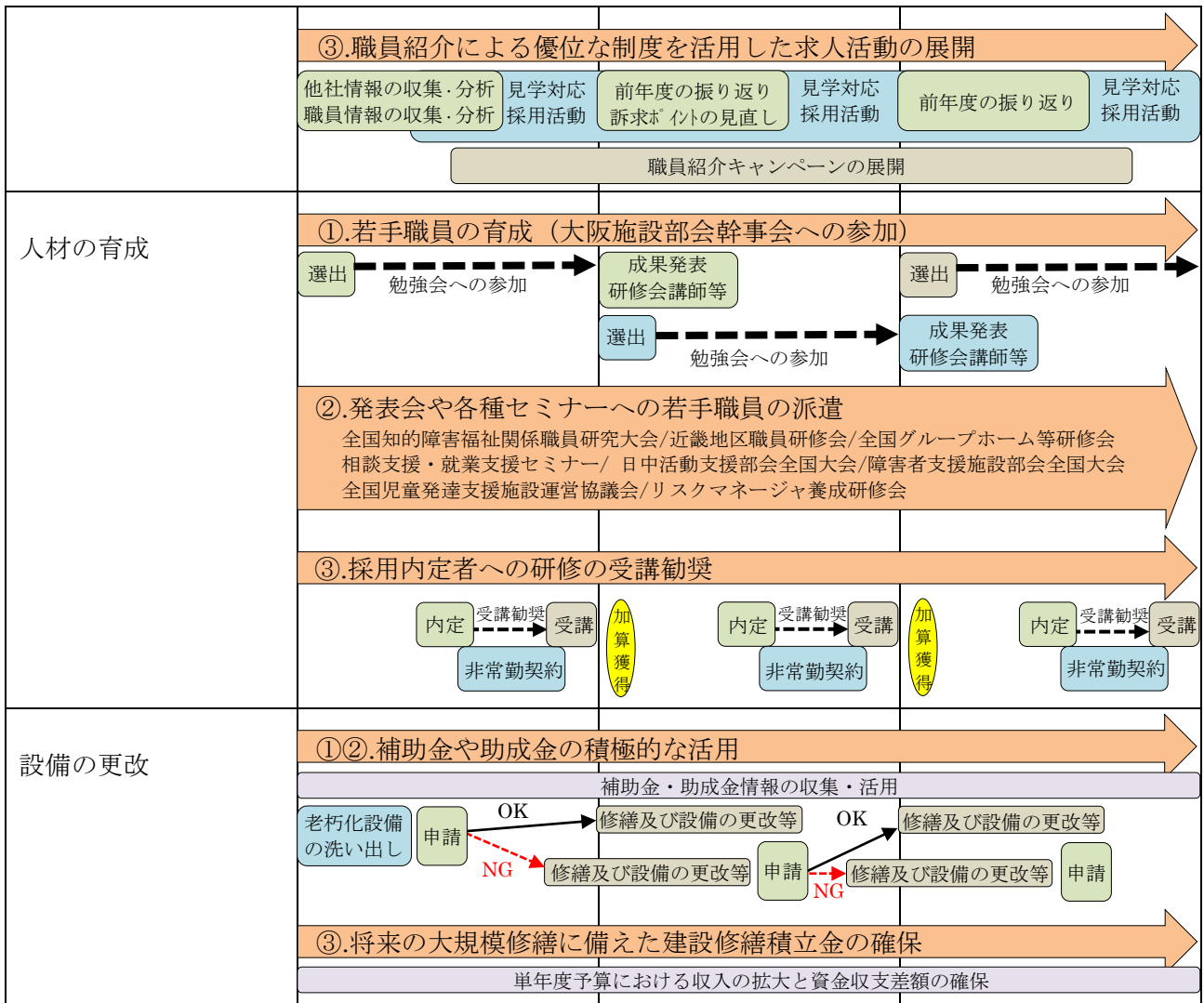
(3) 人材の育成

- ① 施設部会で実施している他施設職員との勉強会に順次若手職員（毎年2名）を送り出し、交流し切磋琢磨しながら見聞を広めてもらいます。
- ② 支援に関する各種発表会やセミナー等には若手職員を積極的に派遣します。
全体研修会等で講師となり学んできたことを指導（展開）していただきます。
- ③ 新卒の採用内定者に限り、入職後に必須となる研修で受講可能なものについては、できるだけ入職前に受講してもらうよう勧奨します。

(4) 設備の更改

- ① 老朽化設備の洗い出しと補助金等を考慮した更改計画（資金計画）を策定します。
- ② 効率的な設備の更改等に向け、行政の補助金情報等の把握に努め、積極的な活用を目指します。
- ③ 将来の建て替えに向けた建設修繕積立金の確保に努めます。

項目	2020年度	2021年度	2022年度
安定した収益の確保	①.成人：運動機会の提供、定期的な健康診断による病気の早期発見		
	②.児童：入所児童の確保と積極的な一時保護児童の受け入れ		
	3名退所	小学生2名・中学生1名	5名退所 小学生2名・中学生2名 高校生1名(1~2年のみ)
	③.GH：事務所一体型ホームの早期開設		
	土地の確保 折衝	着工	完成 運用開始
④.通所：開所日数の最大限の確保とイベントの創出			
人材の確保	①.新規ルートの開拓と継続的なアプローチ		
	卒業生の母校訪問 職業紹介授業や 就職が「イグニス」に出席 見学対応 採用活動	卒業生の母校訪問 職業紹介授業や 就職が「イグニス」に出席 見学対応 採用活動	卒業生の母校訪問 職業紹介授業や 就職が「イグニス」に出席 見学対応 採用活動
	②.各種イベントを活用した専門学校卒や高等学校卒人材の確保		
就職フェアや進路担当 教諭との説明会参加	見学対応 採用活動	就職フェアや進路担当 教諭との説明会参加	見学対応 採用活動
就職フェアや進路担当 教諭との説明会参加	見学対応 採用活動	就職フェアや進路担当 教諭との説明会参加	見学対応 採用活動



4. 地域交流の推進

(1) 地域住民との交流

- ① 自治会活動や地域で開催されるイベント等には積極的に参加します。
- ② 自治区の方や近隣の方が気軽に施設の食堂やグラウンド等を利用してもらえるような催しを地域の方（主に民生委員）と一緒に検討します。

(2) ボランティアの受け入れ

- ① 施設からの呼びかけではなく、ボランティアから気軽に来ていただける（参加できる）ような雰囲気の施設を目指します。
- ② 実習に来た学生には、必ずボランティアとしての再訪勧奨を行います。

項目	2020年度	2021年度	2022年度
地域住民との交流	地域イベントへの積極的な参加や施設でのサロン活動等の開催		
ボランティアの受け入れ	ボランティアメニューの公開と定期的な施設の案内		